

取付説明書

MDA-W799J

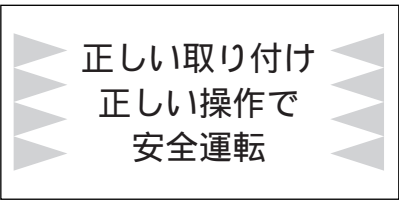
MD/CD/DSPヘッドユニット



68P30540Y51-O

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

ご使用の前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この取付説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



前方の視界を妨げる場所、ステアリング・シフトレバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ステアリング・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



強制

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



強制

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

通風孔・放熱板をふさがしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。



強制



車両雑音から守るために次のことに注意してください。
・アースコードを車体の金属部分に確実に接続。
・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

1. はじめに

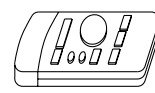
ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。不明な点はお買い上げの店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

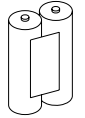
電源コード



リモコン



電池（単4）



サラネジ（M5×8）



×6

バインドネジ（M5×8）



×8

マイク（時間補正測定用）



一式

2 車を安全で平坦な場所に停める。パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

2. 外す

コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。

一部の車種（外国車など）では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。

1 バッテリー⊖端子を外す。

2 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

3 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

4 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付ける 1 で利用します。）

3. 接続する接続するごとに OK に✓点をつけてください。

注意 正しい接続をする。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

接続の際は、コードに付いているラベルや説明書を確認しながら、注意して行ってください。音声出力ケーブルを接続する時は、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください（左信号が白、右信号が赤）。
スピーカーの接続
・純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
・スピーカーは、インピーダンスが3.2~8 のものをお使いください。

1 裏面の接続図を参照して接続をする。

2 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻く。

3 ヘッドユニットに電源コードを接続する。「カチッ」と音がするまで差し込む。

4 正しく接続されているか確認する。✓点 がもれているところはないか。

5 バッテリー⊖端子を接続し、イグニッションキーをONにして動作を確認する。本機の電源が入るか（イルミネーションが点灯するか）、音は正しく出るか。

6 確認が終わったら電源を切る。

7 イグニッションキーを抜いて、バッテリー⊖端子を外す。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

FAX: 03-3494-1767 TEL: 03-3779-0711

電話受付時間 平日 9:30~12:00 13:00~17:00

電話は混雑が予想されます。FAXがハガキをおすすめします。

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (S)



古紙配合率70%再生紙を使用しています

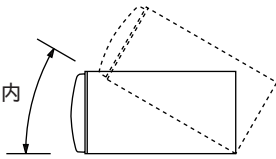
4. 取り付ける

取り付け場所について

ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

Memo 水平に対して30度以内に取り付けてください。

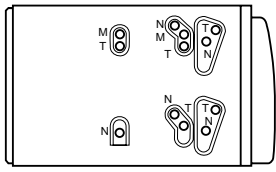
30度以内



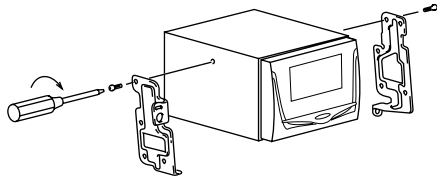
1 本機にブラケットをしっかりと取り付ける。

Memo ニッサン車に取り付ける場合は、別売の「取付キットFN-247」を使用してください。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車 M穴→ミツビシ車
T穴→トヨタ車・ミツビシ車



取り付ける車種により異なります。

2 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかりと取り付ける。

3 インパネを取り付ける。

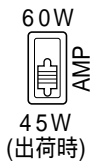
4 コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

5 バッテリー端子を接続する。

最大出力切りかえスイッチについて

本機は最大出力を60Wにすることができます。60Wで使用する場合、組み合わせるスピーカーが「最大入力60W以上」「インピーダンス 3.2~8Ω」であることを必ず確認してください。指定以外のスピーカーをお使いになると、スピーカーの発火・発煙・破損の原因になります。また、本機とバッテリーの接続には、必ず別売の電源延長コード（KWR-303G）を使用し直接車側のバッテリーへ接続してください。接続方法については、別紙の「ご注意」を参照してください。上記条件以外は、必ず45Wのままで使用してください。

最大出力切りかえスイッチ（本機の底面部）



切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

5. 確認する

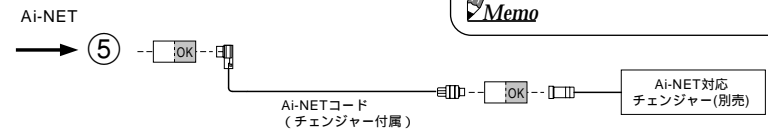
1 イグニッションキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

2 ホーン（クラクション）ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

6. システムアップの例

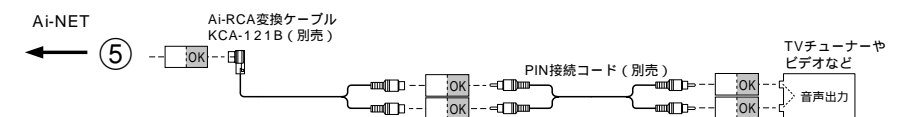
チェンジャーを接続する。

Memo チェンジャーは1台のみ接続可能です。



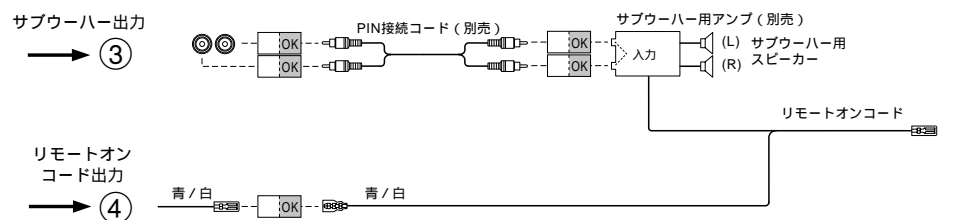
外部入力にビデオなどを接続する。

Memo 取扱説明書の「外部入力の設定」（61ページ）を参照してください。



サブウーハーアンプを接続する。

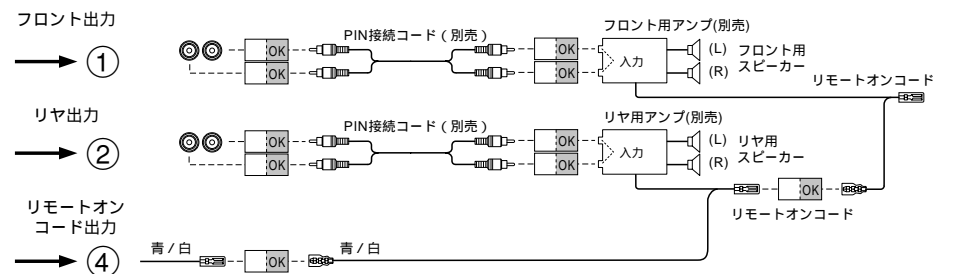
Memo 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。



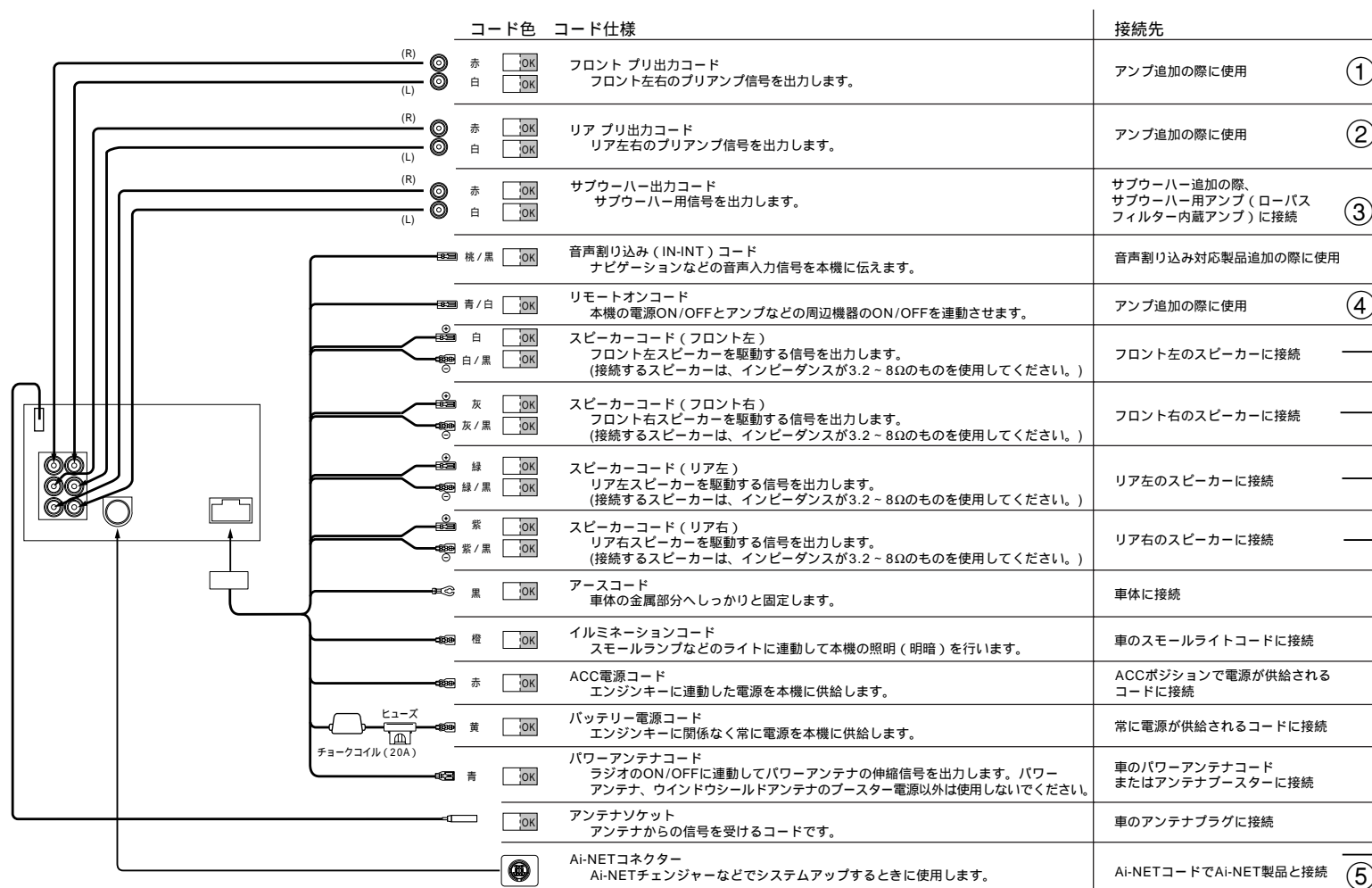
ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

外部アンプを接続する。

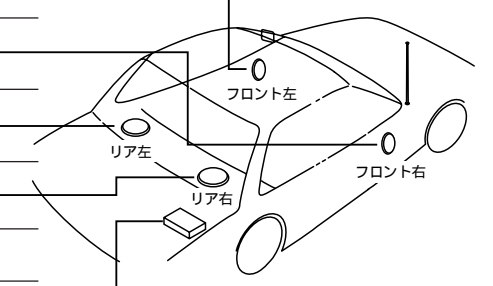
Memo 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。



接続図



Memo 左記接続先の丸番号は、6. システムアップの例で使用します。



注意

正しい接続をする
記載してある接続先以外には
接続しないでください。